

令和6年度 学校経営計画書

学校名 三次市立君田中学校

校長名 竹村 泰則

<校風> ^{がくじふえん}「学而不厭」(学びて厭わず)

<校訓> 自律 自分の行動に責任をもつ
創意 独自のしっかりした考えをもつ
友愛 かけがえのない友をもつ

I 学校の状況

1 基本数等

- ・学級数：3学級
- ・生徒数：25名（男子14名 女子11名）
- ・内訳

	1学年	2学年	3学年	計
男子	4	6	4	14
女子	2	3	6	11
計	6	9	10	25

- ・職員数： 名
- ・メールアドレス：kimita-j@school.miyoshi.hiroshima.jp
- ・ホームページアドレス：http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/junior/kimita-j/

2 学校の状況及び課題

本校（東経132度51分13秒，北緯34度52分24秒，標高約230m）は，町内を貫流する清流神之瀬川，霊峰高幡山（標高665m），神之瀬峡県立自然公園を擁する豊かな自然環境に恵まれる中，^{かななが}鉄穴流しや^{もだかくら}茂田神楽などの古い歴史や文化に支えられてきた。

地域住民（人口約1,290人）のおおらかさと暖かい人情に生まれ，かつては全校生徒350余名いたが，人口の減少傾向に伴い小規模校に転じてきた。創立77年を経過する今日，学校教育に対する保護者・地域の関心は非常に高く，基礎学力の定着をはじめ，生活面など様々な分野における一層の期待がかけられている。

II 学校教育目標

【君田中学校区小中一貫教育教育目標】

きみたを愛し 主体的に学び 心豊かで たくましい児童生徒の育成

【君田中学校教育目標】

高い志をもち 自ら考え 行動する生徒の育成

【めざす生徒像<育成したい資質・能力>】

- 1 主体的に学ぶ生徒<「主体性」>
 - ・目標に向かって主体的に学習に取り組む生徒
 - ・振り返りを大切にし，自己調整する生徒
- 2 思いやりのある生徒<「伝えあう力」>
 - ・話をしっかり聞き，自分の考えをはっきり言える生徒
 - ・自分を律し，自他をリスペクトする生徒
- 3 逞しい生徒<「やりぬく力」>
 - ・逞しい精神力と体力，行動力をもち，最後までやりぬく生徒
 - ・共に協力し，汗して活動する生徒

【めざす学校像】

- | |
|---|
| 1 モラルの高い、潤いのある学校
2 安心して、生き生きと生活できる学校
3 地域とともに、生徒一人一人の能力・特性を伸長する学校 |
|---|

Ⅲ ミッション（本校の使命・存在意義）・ビジョン（本校のめざす将来像）

ミッション	ふるさと君田を愛し、夢と希望をもって挑戦する生徒を育成する。
ビジョン	君田地域における文化・教育活動の拠点として、地域の次世代を担う子供たちに夢と希望を与え、地域に感動を与え、貢献する学校をめざす。

Ⅳ 重点事項（努力点）

- 新しい時代に求められる資質・能力を具体化し、その育成を図る教育課程の創造と生徒指導の4つの視点を生かした教育活動を推進する。
※4つの視点：「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」
- 「ふるさと きみた」の視点に立ち小中9年間の「学びの文化の継承」を図る小中一貫教育を推進する。
- 学校・地域・家庭が協働的に進めるコミュニティ・スクールをめざす。

Ⅴ 中心価値・行動規範（教職員が遵守すべき規範・行動指針）

- 質の高い、確かな指導力を発揮するために自己研鑽に努める。
- 明るい笑顔と豊かなコミュニケーション能力を有することに心がける。
- 社会の変化に柔軟に対応し、新しいことに果敢に挑戦する。

Ⅵ 現状分析

【学校経営環境分析】

外部環境	<支援的要因> 【地域】 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境 ・教育熱心で学校教育に協力的 【市教委・県教委・国】 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育のための予算の支援 ・ICT教育環境整備 ・各種学力調査等実施 	<強み> 【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・広い校舎スペース ・教育施設設備の充実 ・小中学校の隣接による日常的連携 ・伝統ある図書館教育 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた生活態度 ・素直、純朴 【保護者】 <ul style="list-style-type: none"> ・教育方針に協力的 	内部環境	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">支援的要因と強みを生かした活動・取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「つながり」を意識した9年間を見通した小中一貫教育の推進 ・読書活動の推進 ・地域学習を中心とした探究的な総合的な学習の時間の創造と学習成果の発信 ・コミュニティ・スクールの導入
	<阻害的要因> 【地域】 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化 ・地場産業の不足 【市教委・県教委・国】 <ul style="list-style-type: none"> ・教育設備に係る限られた予算 ・全教科等に対応した指導主事の支援 	<弱み> 【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数の減少傾向 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所からの固定した人間関係の構築 ・基礎学力の定着 ・自己効力感が低位 ・体力低下 【保護者】 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の人間関係の希薄化 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">阻害的要因・弱みを克服する解決策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導によるきめ細かな指導 ・自己のよさを認識させ自己実現をめざすキャリア教育の推進 ・自己効力感を高めるための人間関係づくりの推進 ・他のよさを認め合う学級づくりの推進 ・年間を通じた体力づくりの推進

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標（評価項目及び評価基準表）

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	
		取組内容・方策	評価：成果指標または具体的指標 —（主として推進する部・担当）—
確かな学力の定着を図る。	学びを実感できる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一回以上の研究授業（年間を通した個別の研究内容の設定及び検証） ○学力調査、定期試験、評価テスト等の検証を踏まえた授業改善（課題設定と課題克服へ向けた取組） 	<ul style="list-style-type: none"> ○三次市学力到達度検査結果における平均正答率（全国平均以上の教科が70%以上） ○授業評価に係る生徒の肯定的評価（小中一貫アンケート） <ul style="list-style-type: none"> ・「授業の内容はよくわかる。」70%以上 ・「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」70%以上 【教務部】
	学びの基盤（自ら学ぶ力・伝える力）づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の習慣化（宿題等） ○タブレットドリルの活用（繰り返し学習） ○読書活動の推進（読書スピーチ、ブックトーク等の取組） 	<ul style="list-style-type: none"> ○宿題の提出率95%（各教科平均） ○タブレットドリルを活用して自学自習に取り組んでいる生徒90%以上（生徒アンケート） ○月1冊以上本を読む生徒90%以上（小中一貫アンケート） 【教務部】
豊かな心とよりよく生きようとする態度・意欲を育成する。	生徒一人一人を大切に する環境づくり・仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○各種コンクール応募 ○異年齢交流、合同行事 ○人権標語・平和集会の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感に係る生徒の肯定的評価（小中一貫アンケート）「自分にはよいところがあると思います。」80%以上 ○自己存在感に係る生徒の肯定的評価（小中一貫アンケート）「自分のよさを周りから認められていると思います。」80%以上 ○思いやり（人間関係構築力）に係る5項目生徒の肯定的評価（i-check）90%以上 【生徒指導部】
	生活三訓（あいさつ、掃除、時間を守る）の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ運動の取組（生徒会活動） ○掃除時間の振り返り ○ノーチャイムの実践（3分前行動・1分前着席） 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活三訓に係る生徒アンケート肯定的評価（小中一貫アンケート） <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ「時と場に応じた気持ちのよいあいさつをしています。」95%以上 ・掃除「自分で考えて、時間いっぱい掃除をしています。」95%以上 ・時間を守る「時計を見て、教室移動や学習準備をし、授業開始前に席に着いています。」95%以上 ○生活三訓に係る肯定的評価（保護者アンケート） <ul style="list-style-type: none"> ・「学校は、生活三訓（あいさつ、掃除、時間を守る）を指導している。」90%以上 【生徒指導部】
健康で逞しい体力を育成する。	基礎体力の向上	○全校生徒による毎週1回5分間の体力づくり	○5月実施の新体力テストの記録を上回る生徒60%以上（体力テストの比較） 【生徒指導部】
	基本的な生活習慣の確立	○3点固定（就寝時刻、起床時刻、学習時刻）の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○3点固定の就寝時間・起床時間が固定している生徒の割合80%以上（生徒アンケート） <ol style="list-style-type: none"> ① 就寝時刻 23時までに ② 起床時刻 6時までに ○「わが子は3点固定（就寝時刻、起床時刻、学習時刻）を意識し、基本的な生活習慣が身に付いている。」80%以上 【生徒指導部】
信頼される学校づくりを推進する。	学校運営協議会を核とした学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学校状況についての積極的な情報発信（各種通信、ホームページ、学習成果の発表等） ○保護者・地域の学校支援促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の情報公開に係る保護者の肯定的評価（保護者アンケート） <ul style="list-style-type: none"> ・「学校が発信する通信やホームページは、学校や生徒のことがわかる内容になっている。」95%以上 ○ゲストティーチャー招聘計画の実施率100% 【総務部】
	教職員の働き方改革の推進	○子供と向き合うための業務改善の推進と働き方改革へ向かう意識変革	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革に係る教職員の肯定的評価（教職員アンケート） <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒と向き合う時間が確保されている。」80%以上 ・「働き方改革を推進する学校体制が機能している。」80%以上 【総務部】

評価基準（目標値に対する達成度）

5	100%以上 目標を上回った	4	80%～100%未満 よくあてはまる	3	60%～80%未満 ややあてはまる	2	40%～60%未満 あまりあてはまらない	1	40%未満 まったくあてはまらない
---	-------------------	---	-----------------------	---	----------------------	---	-------------------------	---	----------------------

